



The Power of our Purpose

目的達成のための力

FY22 Corporate Citizenship Report

目次

- 01 CEOからのメッセージ
- 02 私たちはTD SYNEX
- 07 環境サステナビリティ
- 17 社会的責任について
- 26 ガバナンス
- 30 付録

CEOからのメッセージ

TD SYNnex Our Purpose Is Powerful

TD SYNnex との合併を発表した日、私は世界中の従業員が映し出されたスクリーンの前に立ちました。私は一人ひとりが集まることで、従業員それぞれの個人的な使命と目的より、もっと大きな目標を叶えることができると信じています。そのために、今回の合併が行われたのです。

2つの強力な企業の洞察力と影響力を結集することで、私たちが実現できる新しい可能性を引き出しています。そして最も重要なことは、私たちがお客さま、メーカー、地域社会に提供する価値を最大化することです。

これが私たちの目的を達成する方法です:

テクノロジーで素晴らしい成果を達成するために、グローバルパートナーに力を与える。これらはすべて、献身的な従業員たちのおかげです。彼らは、私たちの過去と現在のベストを体現しています。それがなければ、私が主張することは、単に紙の上の言葉でしかありません。しかし、その言葉は、私たち一人ひとりが受け入れ、生かすことで力を発揮するのです。TD SYNnex のこれからは、最終的にはすべて私たち次第なのです。私たちは共に、グローバルなITエコシステムを結びつけ、すべての人のためにその可能性を解き放つことができるポジションにいます。

合併以来、私たちは従業員と目標を第一に考えるアプローチを採用しています。この最初のコーポレート・シチズンシップ・レポートでは、世界中で私たちの活動を形成している戦略的な環境・社会・ガバナンス (ESG) のフレームワークについて説明します。

「私たちは、今後も投資を継続しお客さま、従業員、地域社会への貢献の仕方を広げていきます。私たちは、レガシーカンパニーをこのような統一された地点まで押し上げた原則をつくり、これに根ざして企業活動を行っていきます」

その中には、私たちの継続的な進歩を確かなものにするための壮大な目標や実行計画が含まれています。新しい文化を育てながら、団結した精神で、すべての人にとってより良い、より包括的な世界を創り上げていきます。

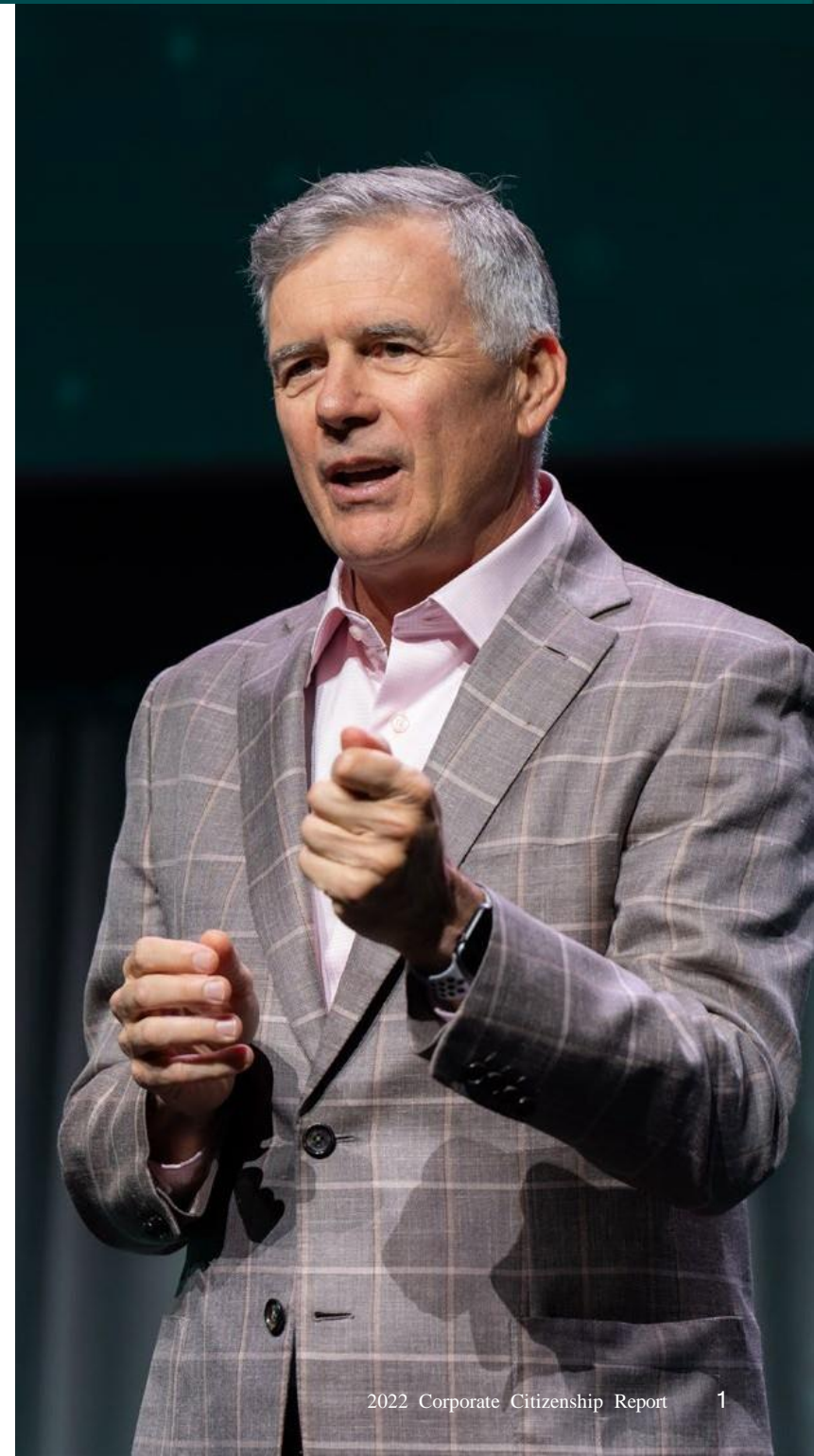
イノベーション、人々、地球に対する深いコミットメントは、私たちの成功に欠かせないものです。私たちは、投資や、お客さまやメーカー、地域社会に貢献する方法を拡大し続ける一方で、レガシーカンパニーをこの統一された地点まで前進させた原則に即して行動していきます。

例えば、TD SYNnex の設立を記念して、「Treedom」と提携し、東アフリカに植樹する機会を従業員に提供したこともその一つです。TD SYNnex が作り上げる森を構成する30,256本の木々もたらすポジティブな影響について考えると、私は「全体は部分の総和以上のものである」ということを思い出します。共通の目的を達成するために、共に成長することを約束すれば、私たちにはできることは無限に広がります。

私たちの新たな旅立ちにお付き合いいただき、誠にありがとうございます。



TD SYNnex 最高経営責任者 Rich Hume



私たちはTD SYNnex

A Company that Cares 思いやりのある企業

私たちは、ITエコシステムのリーディングディストリビューターであり、ソリューションアグリゲーターです。私たちの仕事の原動力、それは人です。魅力的なテクノロジー製品、サービス、ソリューションを世界に提供するという揺るぎない情熱を共有する、IT業界で最も優秀な約23,500人の従業員です。そして私たちは、お客さまがIT投資の価値を最大化し、ビジネス成果、成長機会を引き出すことを支援する革新的なパートナーです。私たちの根底にあるのは「思いやりのある企業」であること。私たちは、お客様、従業員、投資家、そして私たちをとりまく地域社会のことを大切に思っています。そして、多様で包括的な配慮のある従業員、良き企業市民であることをお約束します。

私たちTD SYNnexとは？

TD SYNnex*には、IT業界で最も優秀なフルタイムの従業員、約23,500人が集結しています。世界100カ国以上でサービスを提供し、15万人以上のテクノロジーパートナーをサポートしています。

私たちは、複雑なものをシンプルにし、最大限の価値を、どこよりも早く実現します。私たちのビジョンは、世界のITエコシステムを結びつけ、すべての人のためにその可能性を解き放つことです。

グローバルなテクノロジーディストリビューションとソリューションアグリゲーションにより、あらゆるエコシステムのパートナーに、ソリューションを提供します。

*TD SYNnexは、アジア太平洋地域において、Tech DataおよびTec Dというブランド名で取引されています。Tech DataとTec Dは共にTD SYNnexの会社です。

インパクトの作り方

グローバルに展開することで、大きな解決策を実現。

私たちは事業全体のリーダーシップで、差別化を図るためのソリューションや製品を生み出します。

私たちは、テクノロジーの進化するスピードと共に。

私たちは、テクノロジーエコシステム全体と連携し、絶え間ない変革を管理し、自信を持って実行し、出現したビジネス機会を捉えるために日々進化していきます。

人と地球を大切に。

良き企業市民であり、多様性を受け入れる雇用主であるために、私たちは「インクルージョン」「コラボレーション」「誠実さ」「卓越性」という価値観とともに、成功を目指します。

私たちが目指すもの

目的を明確にすることで、影響力を最大限に。

私たちは、現在と未来のニーズにお応えするため、従業員とパートナーの力を高めることを常に支援し続けます。

迅速に適応し、革新的なソリューションを開発。

パートナーとお客さまを、必要なときに必要なソリューションと結びつけることをサポート。

大胆な目標設定とその達成を目指す。

新しいコーポレート・シチズンシップ・プログラムを通じて、戦略的アプローチの設定と、それを実現するための取り組みに注力します。



受賞歴・表彰歴



コーポレート・シチズンシップ戦略

素晴らしいビジネスをすることは、良いビジネスです。このような考えから、私たちは合併後の最初の6カ月間で、コーポレート・シチズンシップ・プログラムを立ち上げました。このプログラムの戦略には、グローバルな環境・社会・ガバナンス（ESG）の枠組みが含まれており、私たちのビジネス、従業員、投資家、パートナー、お客様、地域社会に長期的な価値を提供するのに役立つものです。

私たちは主要なステークホルダーを巻き込み、詳細な重要性評価を通して、ESGフレームワークを形成しました。このプロセスで得られた知見に基づき、当社のステークホルダーと事業にとって最も重要なESGの優先領域を特定することができました。

サプライチェーンの中間に位置する大手ITディストリビューターである当社は、環境と社会に有意義な変化をもたらすことができるユニークなポジションにあります。私たちのESGへの取り組みを共有し、進捗状況を開示することで、サプライヤー、メーカー、パートナー、お客さまにも同様の行動と進捗を促すことができると願っています。

私たちは、この戦略をグローバルな組織全体で積極的に取り組んでいます。私たちの戦略を監督するために、地域や部門を越えたシニアリーダーで構成されるグローバル・レスポンシビリティ・ステアリング・コミッティを設立しました。これらの活動は、持続可能なビジネスのネットワークであり、マテリアリティ評価の完了を支援したコンサルティング会社であるBSR（Business for Social Responsibility）との強力なパートナーシップによって支えられています。

国連 持続可能な開発（SDGs）への対応

私たちは、コーポレート・シチズンシップとしての取り組みを通じて、以下の[国連の持続可能な開発目標（UN SDGs）](#)に取り組んでいます。





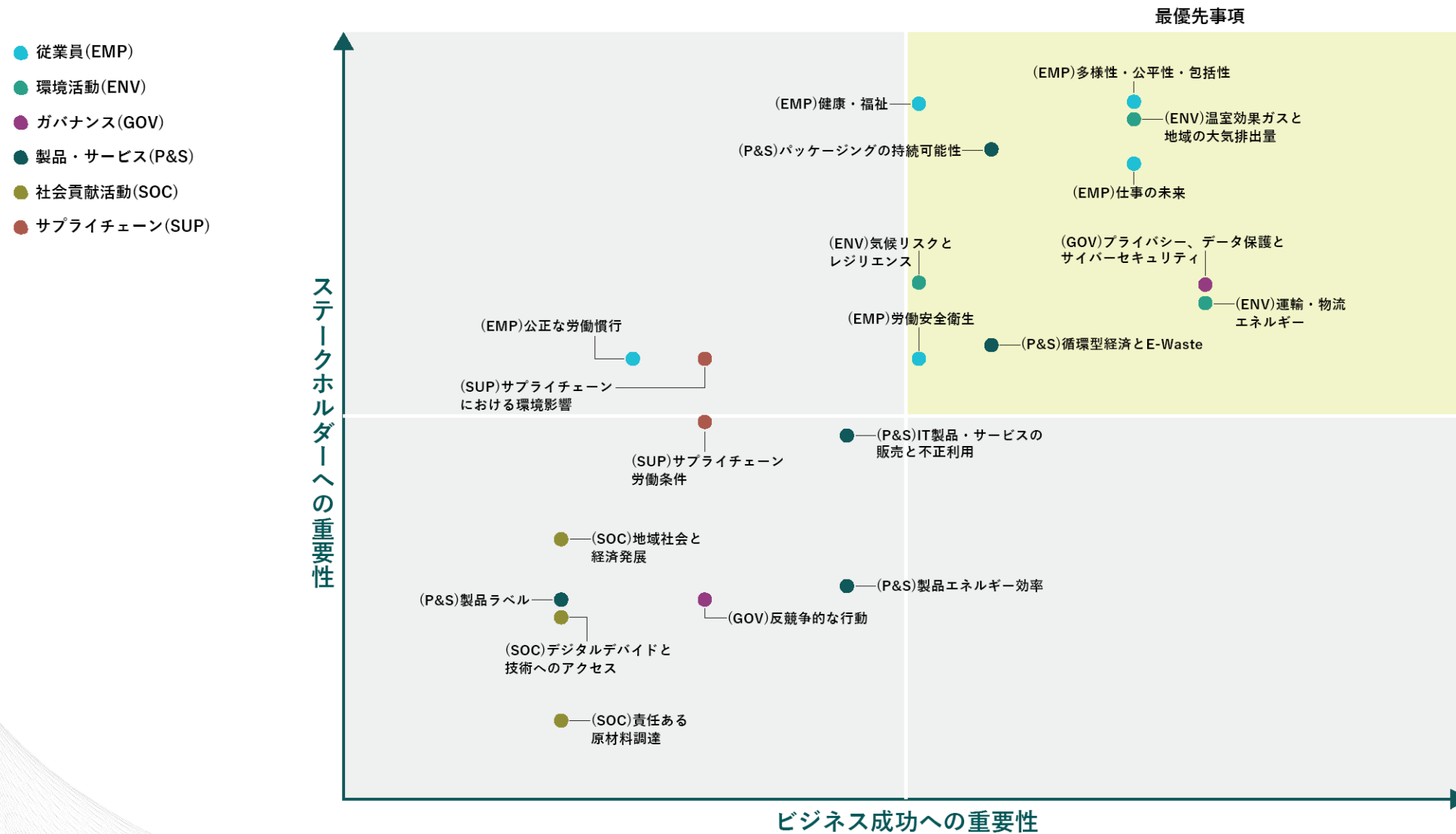
進むべき道を策定:初めてのマテリアリティアセスメントの中身

企業が持続可能な道筋を確立するために検討すべき課題は数多くあります。有意義な前進を続けるためには、課題に優先順位をつけ、焦点を絞り適切なアプローチを取ることが不可欠です。このことを理解した上で、2022年にBSRと提携し、綿密なESGマテリアリティアセスメントを実施しました。

プロセスの最初のステップは、業界標準と関連する報告の枠組みに基づいて、重要課題のリストを作成することでした。次に、社内外のステークホルダーへのインタビューと調査により、各課題のランク付けと、文脈の把握が行われました。次のステップでは、ビジネスとステークホルダーのさまざまな基準に基づいて、各課題にスコアリングを行いました。これらのスコアを用いて、チームは当社の主要なESG機会の重要性を評価するマテリアリティ・マトリクスを作成しました。このアセスメントでは、サステナビリティに関するさまざまな課題について、重要な洞察が得られました。例えば、当社の環境目標に対するステークホルダーの賛同や、テクノロジー産業をリードする機会について、より深い理解を得ることができました。また、多様性、公平性、包括性（DE&I）をビジネスの成功に不可欠な要素とし、従業員の健康、安全、幸福を確保するためのプログラムについても、ステークホルダーの皆様に賛同いただくことができました。

これらの洞察に基づき、私たちはESGフレームワークとコーポレートシチズンとしてのコミットメントを策定しました。このロードマップは、合併後の私たちの組織を統合し、より強靱な未来を創造するためのロードマップです。

TD SYNEX のマテリアリティ・マトリックス



環境と社会を軸に考えたとき、私たちはいくつかの大胆なコーポレート・シチズンとしてのコミットメントを掲げています。これらは、今後数年間において、より健全な地球への貢献、従業員の多様性の向上、テクノロジーを求める様々な人々へのテクノロジーを提供するための原動力となります。



コーポレート・シチズンシップ活動へのコミットメント

環境コミットメント

私たちは、ビジネスと地域コミュニティが繁栄できる健全な地球に貢献するために、グローバルな二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。この活動を支えるために、私たちは排出量削減目標の設定、サステナビリティ活動の拡大、お客さまやパートナーの皆様への支援に取り組んでいます。私たちの目標は以下の通りです。

2045年までに：

- 科学的根拠に基づく目標設定イニシアティブ（SBTi）へのコミットメントに沿って、温室効果ガス（GHG）排出量ネットゼロを達成します。

追加目標：

- 製品のライフサイクル管理戦略に、サーキュラーエコノミーの原則を組み込み、ステークホルダーと連携して修理、改修、リサイクルにより廃棄物を最小化する。
- [国際標準化機構 ISO14001](#)などの環境マネジメントシステムを導入する。

社会的コミットメント

私たちの社会的責任へのコミットメントは、私たちの従業員を包括的に歓迎する環境づくりから始まります。そのような環境を支えるために、私たちは従業員の多様性を高め、公平なプログラムと実践を確保することに尽力しています。本レポートの22ページに記載されている7つのビジネス・リソース・グループ（BRG）への従業員の参加を促し、社会的インパクトを推進することを目指します。また、事業の拡大に伴い、ビジネスパートナーのエコシステムにおける多様性を高め、パートナーとともにデジタルデバイドの解消に貢献することをお約束します。私たちの目標は以下の通りです：

2025年までに：

- 従業員に占める割合の低いグループの代表発言権を高めます。
- BRGへの従業員の参加を2倍に増やします。

2030年までに：

- 女性従業員の割合を50%、リーダー層の割合を40%に引き上げます。

追加目標：

- パートナーエコシステムの多様性を高めます。
- デジタルデバイドによるIT格差を埋めるため、「Human I-T」のような同様の活動を行う非営利団体とのパートナーシップを生かし活動します。（「Human I-T」との取り組みでは、約2万世帯、6万人にデジタル機器を提供しました。）



環境サステナビリティ

TD SYNnexには、活気に満ち相互に接続された世界を目指すというビジョンがあります。しかし、気候変動の影響は、このビジョンに対する直接的な脅威となることが多くなっています。その結果、テクノロジー産業やそれ以外の分野の人々にとって、ひとつだけはっきりしていることがあります—今こそ、目的意識を持って環境対策を行うべき時です。私たちは新しいコーポレート・シチズンシップ・プログラムを通じて、協調的かつ協力的なアプローチをとることにより、グローバルな二酸化炭素排出量の削減、循環型経済の拡大、教育やリーダーシップ思想の実現に取り組んでいます。具体的には、SBTi (Science Based Targets initiative) のビジネス・アンビション・プレッジに取り組み、2045年までにグローバル事業で温室効果ガス排出量を正味ゼロにする目標を設定しました。

その過程で、世界的に排出量の削減目標を設定し、サステナビリティへの取り組みを強化していく予定です。私たちは、ステークホルダーとパートナーシップを結び、技術の価値を最大化し、廃棄物を最小限に抑えることで、循環型経済の推進に取り組んでいます。環境への影響と改善の機会をよりよく理解するために、内部評価とベンチマーキングを実施しています。また、国際標準に沿った環境マネジメントシステムを展開し、CDPを通じてパフォーマンスを報告しています。私たちは、サステナビリティはひとつの旅であると認識しており、当社のビジネスとITエコシステム全体に有意義な変化をもたらすことができると確信しています。



2022年活動ハイライト

1:教育およびリーダーシップ思想

- モジュール方式によるサステナビリティ研修プログラム「サステナビリティ・エッセンシャルズ」と「サーキュラー・エコノミー」の2つのコースをスタート。

2:サステナビリティマトリックスとレポートの作成

- TD SYNnexとして初めてのCDPアセスメントでCスコア (Awareness) を達成。
- 12の拠点で[Energy Star](#)、[LEED](#)、[BREEAM](#)の認証を獲得

- データ収集のため「ESG会計」ツールを導入

3:温暖化防止と温室効果ガス対策

- 2045年までにグローバルな事業活動において温室効果ガスの排出を正味ゼロにすることを約束。

- 2023年、近い将来の排出量目標をSBTiに提出し、承認を得る予定。

- フロリダ州クリアウォーターの本社で、ネット・ゼロ・カーボン目標を推進するため、南フロリダ大学とのパートナーシップを開始。

- 持続可能な輸送と物流に特化したTD SYNnex のグローバルな社内ワーキンググループを設立。

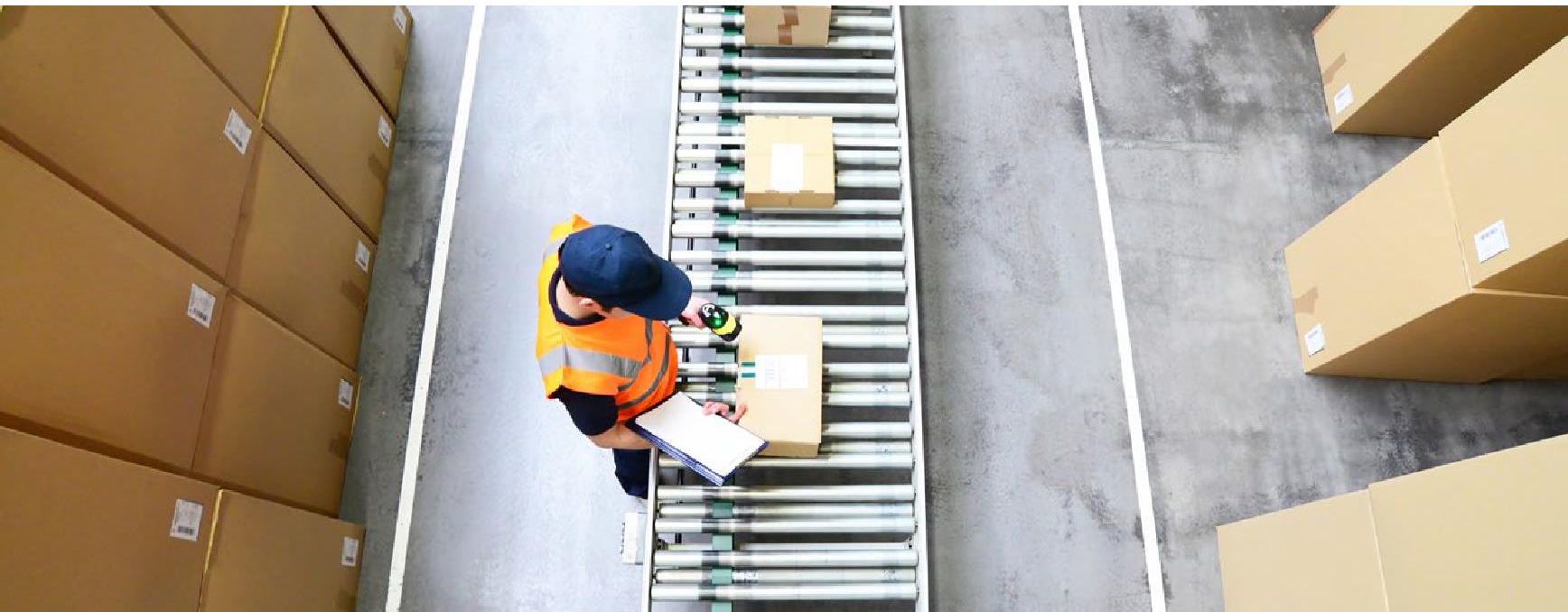
4:サーキュラーエコノミー

- TD SYNnex Renewの携帯電話下取りプログラムを通じて、約35万台の携帯電話を埋立地から回収。

- TD SYNnex 社内にグローバルなサーキュラーエコノミー専門ワーキンググループを設置。

5:文化

- Treedomとの継続的なパートナーシップにより、東アフリカで30,256本の植樹を実施。



カーボンフットプリントの削減

気候変動対策は待ったなしの問題であるため、私たちは環境問題に対して最優先で取り組んでいます。私たちは2021年9月、SBTiのビジネス・アンビション・プレッジに署名し、二酸化炭素削減の旅を始めました。地球温暖化を産業革命以前の水準に抑えることを目指したパリ協定*に基づき、私たちは2045年までにグローバル事業における温室効果ガスの排出を正味ゼロにすることを約束しました。そのために、私たちは自らのオペレーションにおける二酸化炭素排出量を最小化することに注力するとともに、パートナーと協力してITエコシステムの脱炭素化を目指しています。また、GHG 排出量データの収集と開示を強化するために、データマネジメントシステムを導入しています。これらの取り組みが、私たちの進むべき道筋を示す「CO2排出削減ロードマップ」を構成していきます。

*国際連合、[“パリ協定”](#)

草の根活動の推進

会社を前進させる取り組みが、ボトムアップで育つこともあります。ベネルクス地域の事業で2030年までに気候変動に左右されない社会を実現するために、社員が中心となって取り組んでいる「クライメート・パラメント」（気候変動対策会議）がそうです。

[Climate Parliament](#)は、2021年初頭、ベルギーとオランダの約25人の従業員から始まりました。ベネルクス地域のリーダーたちの呼びかけで、デザイン思考を学ぶ5日間のトレーニングに参加したのです。この研修がきっかけとなり、グリーンモビリティ、グリーン交通、ゼロエミッション、エネルギー消費への意識向上を通じて、気候変動の緩和を目指す4つの取り組みがスタートしました。また、同地域が環境マネジメントを改善するためのISO14001の認証取得を支援しました。2022年には参加者がほぼ倍増し、もうひとつの取り組みである「グリーン認定プログラム」が加わりました。輸送に起因する二酸化炭素の排出を削減するために、お客さまと一緒に取り組んでいます。排出量が削減された場合、お客さまにはTD SYNEX Green Certificateが発行され、四半期ごとに延長することが可能です。ドイツ、イベリア、イタリア、北欧地域にも同様の「グリーンチーム」があります。アメリカ大陸では、サウスカロライナ州グリーンビルとコスタリカにチームがあります。今後は、この従業員主導のチームを世界中に広げていく予定です。その目的は、TD SYNEX のカーボンニュートラルの旅に同行することで、同僚、顧客、メーカーを鼓舞する力を与えることです。さらに、TD SYNEX の完全子会社である Hyve Solutions は、最近、“Hyve Environmental Initiative” を立ち上げました。このイニシアティブは、ハイブ・ソリューションズのグローバルな従業員の関心と創造性を活用し、ハイブの環境維持パフォーマンスの進展を加速させるという同様の目標を掲げています。

二酸化炭素排出量の測定

二酸化炭素排出量を評価することは、効果的に削減するための第一歩です。そこで、2022年度のグローバルでの二酸化炭素排出量を、当社の事業所管理下にある拠点について算出しました。スコープ1（直接）排出は、主に熱源として使用する天然ガスから、スコープ2（間接）排出は、第三者が発電する際に発生する電力からです。これらの項目を下げるために、エネルギー消費量と化石燃料の使用量の削減に取り組んでいます。

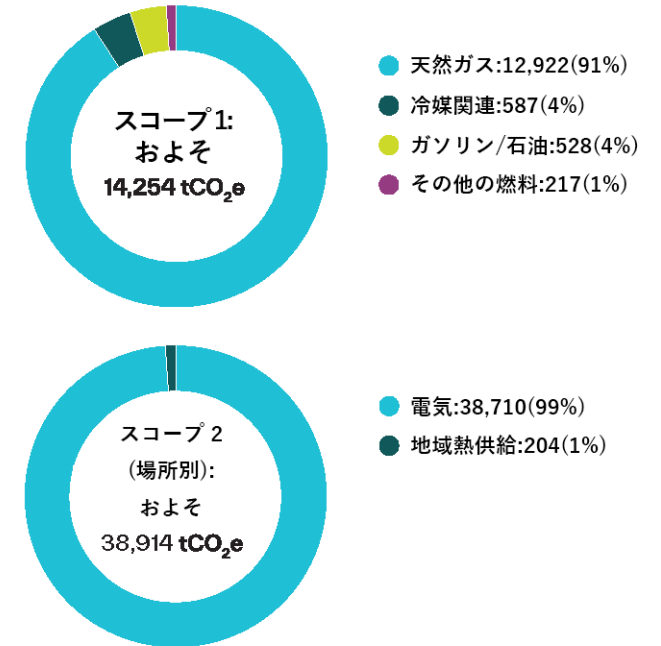
私たちの最大の課題は、グローバルなカーボンフットプリントの大部分を占めるスコープ3（バリューチェーン）の排出量を計算し、削減することです。これらは、私たちが流通させる商品やサービスを生産するメーカーや、



私たちが市場に送り出す製品の輸送や使用を通じて発生するものです。現在、これらをより定量的に把握するために、データの収集と計算ツールを改良しています。この課題に取り組むには、循環型経済の理念を推進し、より環境に優しい輸送手段や再生可能燃料への転換を図ることが重要です。このポリシーでは、従業員に対面でのミーティングは控えることにし、出張は多目的にすること、飛行機よりも鉄道など二酸化炭素排出量の少ない交通機関を優先的に利用することを奨励しています。対面での会議が必要な場合は、企業のCO2排出量オフセットを専門に支援するクライメート・パートナーと提携し、地域社会に直接影響を与える認定プロジェクトに資金を提供しています。2022年、私たちのパートナーシップは**1,991tCO2e**のオフセットを実現し、クライメート・パートナー社から認証を受け、2つの高品質で検証済みのプロジェクトに投資しました。モーリシャス初の大規模太陽光発電所の建設・運営（Verified Carbon Standard, VCS）や、インド5州におけるさまざまな太陽光発電所（Gold Standard, GS VER）の建設・運営に携わっています。

ISO14001の認証を取得する際、欧州の拠点では、その国で再生可能な電力が利用でき、リース契約が可能である限り、翌年の再生可能エネルギー調達目標を80%と定めています。また、当社の旅行代行会社で予約した航空券は、自動的にカーボンオフセット料金が計算され加算され、当社が負担しています。

2022年度スコープ1および2の排出量 (単位：立方メートル トン) *



*P.32をご参照ください

Treedomで TD SYNEX の森をつくる

気候変動へのコミットメントを前進させるには、私たちの献身的な従業員の協力なしにはできません。そこで、TD SYNEX の設立1周年を記念し、クリエイティブで、気候変動に配慮した方法で、組織全体にインパクトを与える文化を根付かせ続けたいと考えました。[Freedom](#)とのパートナーシップにより、世界中の約23,500人のフルタイム従業員一人につき1本の木を植え、さらに年間を通じて新たに入社した従業員のために1本ずつ植樹を行いました。

今年、TD SYNEX は、「Green the Planet」というミッションのもと、大胆に前進し、さらに上を行く努力をしていることが評価され、Treedomの「Bold and Brave Award」を受賞することが出来ました。

このパートナーシップにより、Treedomはこれまでに東アフリカにて、30,256本の木を植えました。これらの樹木を合わせた「TD SYNEX の森」は、生物多様性の保護、土壌浸食や砂漠化の緩和、二酸化炭素の削減など、環境を支える役割を担っています。また、これらの木々には実がなり、地域の農家が収穫することで、地域経済の活性化も担います。

このプロジェクトは、2021年にTreedomを通じて“未来の夢の森”に木を送った、ヨーロッパのTD SYNEX の従業員の活動に追従するものです。TD SYNEX は、当社の新入社員1人につき1本の木を植えることを約束し、この伝統を継続し、私たちの環境へのインパクトを高めています。

数字で見る：「TD SYNEX の森」の効果測定



7,950,750kg

TD SYNEX の森は、7,950,750kgのCO2を吸収する役割を担っています。



30,256

これまでに全世界で30,256本の木を植えました。



1,780

植林には1,780人以上の現地農家が携わりました。



オペレーションの最適化

二酸化炭素排出量を削減するために、私たちはグローバルな組織全体で環境の持続可能性を高めることに重点を置いています。私たちのアプローチは、持続可能なインフラへの投資と同時に、各拠点の草の根プロジェクトを強化することです。例えば、当社の「気候変動対策議会」のメンバーである従業員が、ヨーロッパで始めたグリーン通勤の取り組みを紹介し、フロリダ州クリアウォーターの本社が関心を持ったり、イギリスでは、従業員による対面式イベントのガイドラインを作成し、環境に配慮した体験の提供に積極的に取り組んでいます。ケータリング、宿泊、旅行、会場、グッズなど、イベントに関わるすべての要素について、使いやすいチェックリストを提供することで、イベントごとにエネルギー、廃棄物、二酸化炭素排出量の削減を目指します。

エネルギーへの影響を低減するため、ベルギーのアールスト、英国のメイプルウッド、ニュージャージーのスウェデスポロ、アリゾナのテンピ、そして共同本社のひとつであるカリフォルニア州フリーモントの5つのトランスフォーマティブ・ソーラー・プロジェクトに投資し、

2013年のシステム稼働以来9,800MWh以上の発電量を記録しています。最新のプロジェクトでは、英国メイプルウッドの屋根に500枚以上のパネルを設置し、約185.6MWhの電力を自家発電することができました。

2022年には、南フロリダ大学（USF）とのパートナーシップを開始し、学生を集めて当社のサステナビリティデータに基づく演習を行い、当社のKPI（重要業績評価指標）プロセスの改善に焦点を当てました。フロリダ州クリアウォーターの本社では、現地調査を行い、太陽光発電や職場環境など、当社の事業を脱炭素化し、ネット・ゼロを推進するための可能性を見出しました。

サステナビリティへの取り組みを強化する中で、私たちのチームが評価されたことを誇りに思います。中国では、香港グリーン組織認証（HKGOC）を通じて、優秀レベルの「Wastewi\$e認証」を取得しました。この証書は、廃棄物の削減とリサイクルに関する

HKGOCの最高賞です。一方、フランスでは、ISO9001と14001の認証を取得し、持続可能なマネジメントシステムに対してエコバディスのプラチナメダルを獲得、これは上位1%のスコアを獲得したことを意味します。TD SYNEX の50以上の拠点が、ISO 9001、ISO 14001、またはその両方の認証を取得しています。さらに、TD SYNEX としての事業で EcoVadis のブロンズメダルを、また、以下の拠点で LEED、BREEAM、Energy Star のいずれかの認証を取得しました：

- スペイン、マドリード、アルコベンダス
- メイプルウッド、イギリス
- スウェーデン、ストックホルム
- アメリカ、テキサス州、サンアントニオ
- アメリカ、カリフォルニア州、チノ
- アメリカ、カリフォルニア州、リアルト
- アメリカ、バージニア州、ハーンドン
- フィンランド、エスポー市
- ポーランド、ワルシャワ
- チェコ共和国、ボル
- タイ、バンコク
- オーストラリア、シドニー





数字で見る:フロリダ州クリアウォーターで、より小さなカーボン・フットプリントを実現



4,000

クリアウォーター本社で約4,000個の照明のLED化を完了し、マルチゾーン空調の稼働率センシングを追加。



550

年間推定550トン以上の温室効果ガス削減を達成しました。550トンのCO2eを削減。

英国ブラックネルのオフィスを改装したとき、私たちは廃棄物を最小限に抑えたいと思いました。西アフリカのガーナで恵まれない子どもたちを支援する「Not Alone Foundation Trust」に、「Waste to Wonder」のパートナーとして、オフィス家具を寄贈しました。今後、他の英国拠点の移転・改装の際にも、同様のプロセスを採用する予定です。

カーボンフットプリントを削減する10の方法

1. ゾーン照明やLEDなど、省エネ型照明へのシフト
2. データセンター・施設での温度調節の実施
3. シンガポールで使用されているようなエネルギー効率の良いサーバーの採用
4. 北米の物流センターにて、エネルギー効率の高いコンベアシステムへの投資。
5. 負荷の最適化、電気自動車や充電ステーションへの投資などによるグリーントランスポートへの導入
6. 米国における複数の大規模プロジェクトを含む、太陽光発電パネルの設置。
7. 米国および欧州の施設におけるE-wasteおよびリサイクルプログラム
8. 梱包材の再利用と最適化、オフィス家具の寄贈、オフィス用品の使い捨てを避けることにより、廃棄物量を最小限に抑える。
9. 南フロリダ大学をはじめとするパートナーシップを活用し、クリアウォーター本社の最適化を図る
10. EcoVadis評価、ISO 14001認証、香港グリーン組織認証（HKGOC）など、環境面での進歩。

持続可能な輸送とロジスティクスを加速する

テクノロジー・バリューチェーンの中間に位置する企業として、輸送とロジスティクスは私たちのオペレーションに欠かせないものです。しかし、これらの分野は、私たちの二酸化炭素排出量の大きな要因にもなっています。これはTD SYNnexに限ったことではありません。米国環境保護庁によると、輸送は米国のGHG排出の最大の原因となっています。**私たちは、より持続可能な輸送・物流ソリューションを見出すことで、GHG排出量を削減する大きなチャンスがあると考えています。*

これらの問題に対処するため、私たちは、持続可能な輸送と物流に関する重点分野を立ち上げました。このグループは、持続可能な輸送とロジスティクスを加速するために、目標の概要、KPIの策定、具体的なイニシアチブの特定を支援します。

これにより、物流パートナーとの協働、積載量の最適化、持続可能な燃料の調査、サプライヤーとの協働による梱包材の軽量化（燃料とそれに伴う排出物の削減）などに関する取り組みに優先順位をつけることができます。

ベネルクス地域では、主要都市で「ラストワンマイル」をグリーン化するよう、事業者に働きかけています。私たちの目標は、エンドユーザーへの配送を行う主要都市内で、電気輸送の代替に取り組むことです。また、「グリーン証明書プログラム」を開始し、お客さまと共に輸送に関する二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいます。排出量が削減されると、お客さまにはTD SYNnex Green Certificateが発行され、四半期ごとに更新することが可能です。



* 米国環境保護庁、[“運輸による炭素汚染”](#)。

フランスでエネルギー節減に取り組む

当社の環境負荷の中で、エネルギー消費は大きな役割を担っています。これは、2019年にISO14001規格を展開したフランスチームの重要な見識のひとつです。その結果、地域全体のエネルギー使用頻度や強度を減らすことで、エネルギー節減を実現することに注力しています。チームはまず、2024年、2030年、2040年、2050年の水、ガス、電力の削減目標を設定した野心的なアクションプランを作成しました。この目標を達成するために、3つの分野に重点を置いたエネルギー節減計画を策定しました：

- エネルギー消費量の削減（水・電気・ガス）。
- よりクリーンな消費パターンをサポートし、再生可能エネルギーの使用を増加させるために、オペレーションを最適化する。
- 現在の消費パターンがもたらす炭素への影響に関する潜在的な不足または課題の予測。

これまでのところ、この計画はさまざまなアクションを促し、有望な結果をもたらしています。例えば、2021年には、2019年比で20.6%の電力消費量の削減を達成しました。この成功をもとに、2022年には取り組みを強化しました。エネルギー管理のためのISO 50001規格を導入し、定期的な内部および外部エネルギー監査を開始する計画が進行中です。また、家庭や職場でのエネルギーの無駄遣いをなくすなど、「エコ・レスポンシブル・ワーカー」としての教育も行っています。

サーキュラー・エコノミーの推進

通常、サーキュラープロダクトは、耐久性を考慮した設計や、バージン材ではなく副資材を使用するなど、製品の設計段階で循環型経済の原則を適用することに関連しています。しかし、デザインだけでは、製品が使用後に回収され、循環していくことを保証するものではありません。したがって、ITの循環型経済には、循環型製品だけでなく、製品、サービス、関係者のネットワーク、それを支えるインフラなど、全体的な循環型システムが必要です。循環型製品を顧客に提供しようとする企業は、バリューチェーンパートナーと協力して、さまざまな依存関係を管理し、システムの有効性を監視するために、このようなシステムを積極的に構築する必要があります。

テクノロジー企業が環境を改善する方法のひとつに、E-waste（電気・電子機器から出る廃棄物）対策があります。国連によると、E-wasteは最も急速に増加している廃棄物の流れの一つであり、2019年だけで人類は53.6メガトン（Mt）のE-wasteを排出すると推定されています。*また、バッテリーなどの電子機器廃棄物は重金属を含むものが多く、不適切に処理されると土壌や水路が汚染され、人々の健康に害を及ぼす可能性があるため、埋立地が混雑することが懸念されています。これは差し迫った課題であり、私たちの業界にとってポジティブな変化を加速させる重要な機会でもあります。

そこでTD SYNnex は、製品のライフサイクルマネジメントに循環型経済の考え方を取り入れるよう邁進しています。また、パートナー企業を支援・奨励するツールやサービスなどのリソースも提供しています。2021年には、サーキュラーエコノミーに関する

*国連訓練調査研究所、"[Global Transboundary E-waste Flows Monitor 2022](#)".

課題に取り組み、管理するための専門領域を社内に設置しました。このチームは、4つのR（リデュース、リユース、リペア、リサイクル）を実践することで、製品の長期的な価値を最大化し、廃棄物を最小限に抑えるための取り組みをリードしています。

TD SYNnex の子会社である[Shyft Global Services](#)は、メーカーやその他のIT企業に対して、エンドツーエンドの製品および顧客ライフサイクル管理サービスを提供しています。Shyftのようなグローバルなパートナーに下流物流と関連サービスをアウトソーシングすることで、テクノロジー企業が循環型経済の理念を採用することができます。これは、ITインフラの影響を軽減し、製品ライフサイクルを延長し、電子廃棄物を最小限に抑える上で重要です。Shyftは、旧Global Lifecycle Management組織とその他のグローバルサービスチームをベースに、世界クラスの施設、堅牢なインフラ、世界中から集まった1,500人以上のサービスプロフェッショナルとIT専門家を結集しています。その結果、約550トンのコンピュータ、ストレージ、ネットワーク、ブロードバンド、リテール製品の修理が行われ再度市場に出ていくことができました。

同様に、2022年には、TD SYNnex Renewの[端末買い取りプログラムにおけるサービス](#)を拡充しました。Renewには、販売店、小売店、ディーラーが、お客さまに優しいデバイスの下取りプロセスを提供するために利用できるオンラインポータルが含まれています。実際、当年度は携帯端末の下取りプログラムが30%増加し、再販業者のお客さまから携帯端末を再利用またはリサイクルすることで、約35万台の携帯端末を埋立地から迂回させることができました。

（次ページに続く）

数字で見る:再利用による環境負荷の低減



TD SYNnex Renewは、機器に第二の命を与えることで、以下のような環境配慮を行いました:

128
オリンピックプール
約128杯分の水を
節約

0.20
約0.20トンの貴重
な素材を再利用

+33
33トン以上の鉄
材を保存

+42
42kg以上の希少素材をE-
waste廃棄物から流用

これにより、推定 38,000 トンの CO2 を削減し、中型車 12 台分に相当する金属を節約することができました。また、現在フランスで使用されていて、今後グローバルで展開予定の電子商取引プラットフォーム「InTouch」の機能を改善することで、サステナビリティを考慮して開発された製品を、お客さまに案内できるようになりました。テクノロジー製品の生産と廃棄をめぐる規制は地域によって異なるため、私たちのチームは地域社会や環境を守るために必要なことを行うため、コンプライアンスを確保することに懸命に取り組んでいます。

TD SYNEX は、B2BおよびB2Cの販売代理店向けに、Tech-as-a-Service (TaaS) と呼ばれる[持続可能なサブスクリプション・ソリューション](#)を提供し、循環経済に貢献できるようにするプログラムも実施しています。このTaaSプログラムでは、販売店が中小企業のお客さまにリースを含む柔軟なファイナンスプランを提供し、ハードウェア、ソフトウェア、サービスをまとめて1回の定期的な支払いにすることが可能です。ハードウェアはプログラム終了時に返却され、リユースが行われます。これにより、減価償却資産の不要な長期保管や、不適切な廃棄を防ぐことができます。

Waste of Wonder 廃棄物を無駄にしない

TD SYNEX は、二酸化炭素排出量削減の一環として、パートナー団体であるWaste to Wonder Trustと協力し、ブラックネルのオフィス改装に伴い、家具の再利用を行いました。寄付された椅子や机などは、約1万キログラムの材料が埋め立てられるのを防ぎ、新材料や収穫、製造に伴う約1万8千キログラムの炭素排出を回避することができました。Waste to Wonder Trustは、IT機器やその他の良質なオフィス機器を探し出して改修し、他の慈善団体と協力して、英国をはじめ19カ国の子どもたちを支援しています。

TD SYNEX から寄付された品々は、Waste to Wonder TrustからNot Alone Foundation Trust Ghanaに渡され、そこで有効に、生産的に使われることを確信しています。このパートナーシップの結果、埋め立て地から転用された品目は、木製デスク200台、布製デスクスクリーン200台、木製収納ユニット60台、椅子40脚、テーブル4台、小さな長椅子2台などです。2023年の早い時期にTD SYNEX がベイジングストークのオフィスをよりエネルギー効率の高い隣接したビルに移転する際にも、このプロセスを実施する予定です。

ストックホルム新オフィスにおけるサステナビリティの実践

スウェーデン・ストックホルムの新オフィスは、環境、社会、経済のサステナビリティに配慮して設計・建設されました。新しいオフィスは、最先端の仕上げと技術を誇り、中古の機器や家具を大切に使っています。公共交通機関での通勤を考慮した最適な立地にあり、ハイブリッドな働き方ができるように設計されています。ハイブリッドな働き方をサポートし、通勤のフットプリントを大幅に削減します。また、空間を上手にデザインすることで、より少ない面積で電気や水を節約することができます。これらの特徴は、長期的なサステナビリティを念頭に置きながら、地球の資源を活用し、より多くの人々に提供することを可能にします。



サプライチェーンを通じた責任ある包装と材料使用の確保

さらに、市場に出す製品に適切なラベルをつけ、必要な安全警告や取り扱い方法を記載することで、ユーザーと環境を保護する取り組みも行っています。

TD SYNEX はさらに、メーカーがコンプライアンスに準拠した製品を販売していることを確認するための取り組みも行っています。これは、原材料や化学物質に配慮した使用、材料や製品、包装に含まれる有害物質の削減を含むものです。私たちの目標は、メーカーの製品、バッテリー、包装に関連する廃棄物を回収し、リサイクルし、適切に処分することです。



教育およびリーダーシップ： バッジ・プログラムの開始

知識の共有は、より持続可能な未来を創造するための最も強力なツールの一つです。私たちは最近、従業員、お客さま、パートナー、その他のITリーダーに持続可能な開発に関する重要な情報を提供することを目的とリタ、業界をリードするトレーニングプログラムを開発し、普及させています。現在、このプログラムには2つのモジュールが含まれていますが、近々、他のESG分野も追加する予定です。既存の2つのモジュールは、サステナビリティの本質とサーキュラーエコノミーに焦点を当て、TD SYNEX独自の実践に加え、メーカーによる先進的なサステナビリティの実践を編集したものです。解説、グラフ、ビデオで構成されており、研修終了後にはバッジが授与されます。私たちは、このバッジを、環境や地域社会を支える新しい知識に投資するための名誉あるバッジとみなしています。





社会的責任 について

私たちTD SYNnex は、IT業界で最も優秀な人材を代表し、テクノロジーディストリビューションのルールを書き換えるために日々働いている従業員を誇りに思います。私たちの従業員は、仕事に情熱を持ち、地域社会や世界に良い影響を与えたいと願う戦略的思考を持つメンバーです。サーバント・リーダーシップのアプローチを通じて、私たちは彼らに新しいアプローチを革新し、地域のイニシアティブをリード

する力を与えています。そして、彼らの努力から学びながら、当社のグローバルなフットプリントを活用し、彼らの活動範囲を広げ、成功に導く手助けをしています。私たちは、会社、文化、人材に焦点を当てた新しい社会戦略を通じて、このパワフルなチームにさらに力を与え、鼓舞していきます。



2022年ハイライト

- ディレクター以上の女性比率27%を達成
- 毎年恒例のHuang Leadership Development Scholarship（奨学金制度）を拡大し、従業員とその家族に7つの大学奨学金を授与
- TD SYNnex Share the Magic プログラムを支援するために、設立以来1,700万ドルを集める

世界中の仲間をつなぐ

私たちのビジネスは「つながり」を生み出すことにあります。私たちは、従業員一人ひとりが持つユニークな経歴、考え方、経験などを受け入れることを大切にしています。私たちは、同僚やバリューチェーン・パートナーとのコラボレーションを大切にします。真のイノベーションには説明責任と信頼が必要であるため、私たちは個性を重視します。そして、卓越性を大切にします。顧客、パートナー、地域社会に貢献することで、私たち全員が勝利することが出来るのです。



当社の成功は、これらの価値観を日々体現する従業員を集め、育成することから生まれるものです。私たちは、新しいことに挑戦する意欲がある、実行力のある人材を求めています。グローバルに従業員を拡大する中で、私たちはリーダーシップの役割を含め、多様性を高めることに尽力しています。また、社員がつながり、学び、リードするための十分な機会を確保することにも力を注いでいます。さらに、従業員の個人的、家族的な健康と幸福を最優先しています。候補者段階から後継者育成に至るまで、私たちはすべての従業員に素晴らしい経験を積んでもらいたいと願っています。

すべての人が安全に働ける職場づくり

私たちは、職場の安全は共有の責任であり、強力な作業習慣と従業員一人ひとりの自らを振り返る力の組み合わせにより、将来の安全を確保できると信じています。私たちの目的は、すべての従業員に安全な職場環境を提供することであり、事故や怪我をゼロにすることが私たちの目標です。私たちは、適用される労働安全衛生局（OSHA）基準のガイダンスに従い、作業方法を継続的に見直し、あらゆる事故を分析し、改善策を講じることでこの達成に努めています。入社時、職務内容に応じて、また特定の機器を使用する前に、あるいは毎年、状況に応じてさまざまな安全教育コースを提供しています。



未来のワークプレイスを再構築する

職場環境は、私たちの日々の体験を形作ることができる、実に多くの方法があります。TD SYNEX では、このことを考慮しながら、オフィスの設計やリファブ리케이션を行っています。例えば、一部の拠点では、集中したり、画面から離れたり、くつろいだりするためのウェルネススペースを設置する予定です。また、大規模な拠点では、クリアウォーター、フリーメント、グリーンビルに続き、同僚とその家族をサポートするためのマザーズルームを設置する予定です。もう一つの新機能は、多宗教対応エリアで、私たちのインクルージョン文化を強化するものです。柔軟性を高め、デザインによって人々が心地よく、歓迎されるような新しい空間を構築するということです。

人を第一に据えた社会的戦略



会社

私たちは説明責任を優先し、私たちのコミットメントをサポートするためのリソース、プロセス、測定方法を整備し、すべての従業員に自分の役割を理解させるようにしています。



文化

私たちは、お互いの違いが違いを生むことを知っています。私たちは多様性を大切にし、尊重し、祝福します。評議会、BRG、そして従業員を通じて、多様な従業員コミュニティと私たちの包括的な文化を教育し、称え、認識する機会を設けています。



コミュニティ

私たちは、コーポレートシティズンシップとして地域社会の発展に貢献し、多様で強固なITエコシステムの構築に寄与しています。

数字で見る：TD SYNEX を働きがいのある会社にするために

TD SYNEX を設立したとき、私たちには、SYNEXとTech Dataというレガシーカンパニーの文化を継承する重要な機会がありました。合併後、私たちは企業文化の優先順位付けと指導に多大なエネルギーを注ぎました。

2022年には、ForbesのAmerica's Best Employers For Diversity、FORTUNE World's Most Admired Companies、The Human Rights CampaignのBest Places to Work for LGBTQ+ Equality、Great Place to Work-Certified™ など、当社の文化や思いやりある環境を評価するいくつかの賞を獲得したことを誇りに思います。Great Place to Work-Certified™ (働きがいのある会社)とは、当社で働いた経験について従業員が語る言葉に基づく、名誉ある評価です。実際、74%の同僚がTD SYNEX は働きやすい職場だと答えており、これは米国の平均的な企業よりも17ポイント高い数値です。TD SYNEX での仕事について、同僚が提供したその他のインサイトを以下に紹介します。

85%

85%の同僚が、TD SYNEX に入社したとき歓迎されたと回答

81%

81%の同僚が、私たちの経営陣は従業員が素晴らしい仕事をするに信頼していると回答

84%

84%の同僚が、この会社の従業員には多くの責任が与えられていると回答

6US限定のフィギュア。



The Power of Usに投資する

TD SYNEX では、創業間もないころに社員が集まって作った「The Power of Us」という社員の価値観についてよく語り合います。私たちは、社員が素晴らしい結果を出すために、社員に何を提供しているのでしょうか。



DE&Iの原則に根ざした環境

それは、ウェブサイト上の言葉だけではありません。公正な雇用と昇進の慣行、そして私たちを私たちたらしめている違いを祝福するために、私たちを結びつける環境についてです。



表彰と受賞

優れた業績は評価されるべきものです。当社では、社員が素晴らしい成果を出すために尽力することを奨励するため、優れた業績を表彰し、場合によってはその場で表彰しています。



環境に対する責任

私たちの従業員たちは、私たちが気候変動対策と環境の持続可能性に取り組んでいることを知っています。そして、日々目標に向かって前進できるように、従業員たちをサポートしています。



成長を促す

従業員のキャリア志向を実現するために、入社単なるきっかけにすぎません。私たちは、仕事を通じて学び、成長する機会を提供し、学習と開発のためのさまざまなリソースを提供します。



地域社会への貢献

従業員に地域社会のリーダーとなることを奨励します。人々の生活をより良くするためのリソースを構築するため、私たちの集合的な時間と専門知識をボランティアとして提供することを推奨します。



健康とウェルネスをサポートする

社員とその家族が、身体的だけでなく精神的にも健康でいられるよう、包括的な福利厚生、トレーニング、リソースを提供しています。

私たちの違いが、異なる価値を生む

私たちの会社への入社理由は様々です。しかし、何度も耳にするのが、当社の文化と従業員が当社を優位に立たせるということです。人々は、活気があり、多様性に富み、世界的に認められたチームとつながる機会を熱望しているのです。私たちは、「DE&I」の原則を独立した概念としてではなく、私たちが行うすべてのことの基礎としています。



私たちは、企業、文化、コミュニティの柱を強化するために、DE&I戦略を開始しました。この戦略を統括するのがDE&Iチームであり、各拠点のリーダーや従業員からのサポートを受けています。私たちのDE&Iロードマップを通じて、多様な人材、包括的な文化、すべての人にとって公平なプログラムと実践を育むことを推進しています。私たちは、DE&Iに焦点を当てた教育、認識、関与の機会を提供することに専心しています。この取り組みを実現するために、TD SYNEX は、さまざまな業界や背景を持つメンバーで構成される多様な取締役会を設置することを約束しています。現在、取締役会の55%が女性またはマイノリティグループのメンバーであると表明しています。

TD SYNEX は、マイノリティ、退役軍人、障がい者、LGBTQ+、女性が経営する企業など、多様な企業との直接・間接支出を増やすことを目的としたサプライヤーダイバーシティプログラムの拡大にも取り組んでいます。統合初年度は、多様なサプライヤー支出の継続データベースの作成、サプライヤーの多様性を進行中の調達手法の一部として組み込む、既存および新規の多様なサプライヤーとの支出拡大の機会となる主要分野の特定といった具体策を講じました。さらに、いくつかの主要なサプライヤーの皆様には、当社からの購入品に関連するTier 2の多様な支出を測定するためのパートナーとしてご協力いただくようお願いしています。これらの計画が順調に進めば、今後12カ月から18カ月で多様なサプライヤーの数を20%程度増加させることが出来ると考えています。

社会的コミットメントを推進する

私たちは、企業責任のコミットメントを通じて、DEIの原則を推進・実践するリーダーとして、レガシーカンパニーの歴史を積み重ねています。

2025年までに:

- 私たちは、代表権を持たない属性グループの代表を増やします
- ビジネス・リソース・グループへの社員の参加を倍増させます

2030年までに:

- 私たちは、女性であることを認識する人々の割合を従業員の50%に増やします
- 私たちは、リーダー的役割に占める女性と自認している人々の割合を40%に増やします

ビジネス・リソース・グループ（BRG）を通じたインクルージョンとコミュニティの強化

当社のDEI戦略の重要な構成要素は、7つのBRGを支援し、成長させることです。社内外のエンゲージメントの機会を通じて、BRGは従業員に有意義で包括的な会話をする機会、文化の違いを楽しむ機会、周囲のコミュニティに貢献する機会、個人的・職業的目標を達成するためのスキルを身につける機会を提供しています。また、TD SYNnex のリーダーや意思決定者のための強力なアドバイザリーネットワークとして、コミュニティのニーズを増幅し、ポジティブな組織変革に影響を与える役割も担っています。

BRGの多くは北米で始まりましたが、今後、世界各地で拡大していく予定です。例えば、ElevateとSpectrumはここ数年、ヨーロッパの多くの国で新しい支部を設立し、その範囲を広げてきました。2022年には、最新のBRGの一つであるEmbraceがイギリスとアイルランドで設立され、活動を開始しました。2025年までにさらにグループを立ち上げ、従業員の参加者を倍増させる計画も進行中です。



当社のビジネス・リソース・グループは以下の通りです：



エレベート

2012年に設立された女性を惹きつけ、定着させ、昇進させることに特化。



ペイトリオッツ

2013年に設立された退役軍人、現役軍人、軍人の家族のリクルートとサポートに特化した団体。



スペクトラム

2016年に設立されたLGBTQ+の従業員を認識し、前進させ、サポートすることに特化した団体。



ビーコン

2017年に設立されたブラック従業員の認識、エンパワーメント、アドバンスに特化した団体



フェルザ

2019年に設立されたヒスパニックとラテン系の従業員をエンパワーし、発展させ、祝福することを目的



エンブレイス

2022年に設立された文化的、民族的、宗教的な違いを称え、歓迎され公平な職場を育成することに専念



RISE

2022年に設立されたアジア系および太平洋諸島系従業員を称え、支援し、進歩させることに特化。



数字で見る 障害者インクルージョンのためのパートナーシップ

TD SYNnex のスペイン・バルセロナオフィスは、2011年より、2004年に設立されたランスタッド社の非営利団体である [ランスタッド財団](#) と協力し、排除の危機にある人々や障がいを持つ人々を労働力として統合し、キャリアを成功させるための活動を続けています。ランスタッド財団への寄付は、インクルージョンを高め、障害に対する認識を高め、社会的影響に関する戦略の開発を確実にするための活動を支援するものです。過去11年間の寄付のおかげで、以下のような成果が得られています：

300

約300人を
支援・案内しました

120

一般企業で
120名近くを統合

170

170人以上を育成

多様性、公平性、包括性（DEI）の地域的・世界的なマイルストーン

ゴール	達成済み
2025年までに、代表権のないグループの代表を増やす	<p>グローバルDEI戦略を開始</p> <p>CEOを議長とし、経営幹部で構成される「DEIエグゼクティブカウンシル」を設置。さらに、4地域（APJ、欧州、中南米、北米）のDEIカウンシルを設置。</p> <p>ピープルリーダーを採用する際、平等な立場で面接を行うための採用指令を開始。</p> <p>欧州のDEI協議会では、男女間の不均衡の是正、包括的な企業文化の醸成、障害者雇用プログラムの強化などの優先事項を推進しました。</p>
2025年までにビジネス・リソース・グループ（BRG）への社員の参加を倍増させます。	2つの新しいBRG「Rise」と「Embrace」の設立により、社員の参加が増加。
2030年までに、女性であることを示す人の割合を50%にします。	女性が職場や個人的な問題について安心して話し合えるように、リスニングサークルを設置。
2030年までに、女性であることを示す人の割合が、指導的地位の40%になるようにする。	<p>取締役以上の女性比率27%に到達。</p> <p>女性の上級管理職や取締役、APJを支援・指導するための「メンタリング・プログラム」を開発。</p>
報酬と福利厚生プログラムを通じて、全世界で給与の公平性を向上させます。	公正で一貫した報酬の決定を可能にし、差別や不公平から保護するために、グローバルに展開する事業所の大部分で、統一された職務評価と等級体系に移行しました。福利厚生制度の大幅な調和。
すべての従業員にとって公平な昇進のあり方を評価する。	障がい者の雇用と育成の機会を増やすためのワークストリームを創設。

地域社会への貢献

私たち社員は、より大きな目的に向かって働くことで、より多くのことを成し得ます。TD SYNEX は、創業以来、地域社会に貢献することを誇りにしてきました。今日、TD SYNEX はこの伝統に基づき、デジタルデバインド、子どもたち、ウェルネスという3つの柱に焦点を当てたコミュニティへのコミットメントを行っています。地域社会との連携プログラムを通じて、私たちの努力を結集し、社員と地域社会に最大限の影響を与えるよう取り組んでいます。私たちは、仕事に心を砕くことで、その恩恵が双方向に及ぶことを知っています。

地域貢献活動の拡大

TD SYNEX では、全社的な取り組みの連携と拡大に力を入れています。現在、企業レベルの取り組みの多くは米国内で行われています。地域社会との連携プログラムを構築しながら、徐々に拡大し、世界中の拠点のリーダーや同僚を巻き込んでいく予定です。

同僚との関わりを深める

ボランティアは恩返しになるだけでなく、従業員同士が仕事以外で知り合う良い機会にもなります。現在、私たちはボランティア・アンバサダー・ネットワークの拡大に取り組んでおり、従業員同士が集まって地域社会を支援するボランティア・イベントを開催しています。

このたび、全社的なボランティア活動として、「ボランティア月間」と「Next Meal Campaign」という2つのプログラムを設けました。12月はボランティア月間として、TD SYNEX が事業を展開している地域社会へのコミットメントを共有する素晴らしい機会となっています。TD SYNEX のコミュニティパートナーや地元の団体を通じて、従業員がボランティア活動に参加し、時間の贈り物をするのが奨励されています。

7月には、毎年恒例の「Next Meal Campaign」に力を入れています。毎年、このキャンペーンでは、従業員を集め、食糧不足の解消に取り組む地元団体と協力しています。

TD SYNEX のShare the Magicキャンペーンは、私たちの募金活動の中心的な存在です。このキャンペーンは11年前、現在のサウスカロライナ州グリーンビルのTD SYNEX の拠点で、レガシーカンパニーであるSYNNEXの同僚が立ち上げたものです。現在、このキャンペーンは北米全域に広がり、今後もさらに範囲を広げていく予定です。シェア・ザ・マジックは11年間で1,700万ドル以上を集め、12の慈善団体を支援しました。その中には、コロラド子供病院、FIRSTカナダ、メイク・ア・ウィッシュ・サウスカロライナなどが含まれています。



コミュニティの柱

地域社会にインパクトを与えることは、TD SYNEX の歴史とそのレガシー企業の歴史を通じて、TD SYNEX の誇りとなっています。TD SYNEX は、デジタルデバイドの解消、健康と福祉への支援、子供と教育への投資を柱に、コミュニティ支援へのコミットメントを続けています。



デジタルディバイド

- 私たちは、誰もがテクノロジーを使って大きな成果を上げることができると信じていますが、そのためにはまずアクセスが必要です。私たちは、地域社会がデバイスを利用できるだけでなく、デジタル・リテラシー・プログラムを利用できるようにすることで、デジタル・デバイドを解消することに注力しています。
- Human-I-TやPCs for Peopleなどの組織と提携することで、それを実現しているのです。



ウェルネス

- 私たちは、地域社会の繁栄に健康と福祉が不可欠であると考えます。
- 私たちは、ユニークな課題や状況に対応するために、世界中でアクションを起こすことに注力しています。



子どもたち

- すべての人の可能性を引き出すことは、早くから始まり、決して終わることはないと私たちは信じています。
- 私たちは、子どもたちが成功するために必要なツールやリソースを提供するプログラムを積極的に支援することに重点を置いています。
- シェア・ザ・マジックは、北米の12の慈善団体を対象に、過去11年間で1,700万ドル以上を集めました。



ガバナンス

TD SYNEX は、持続企業としての誇りと、インクルージョン（包摂性）、コレボレーション（共創）、インテグリティ（誠実さ）、エクセレンス（卓越していること）という当社の価値観に沿って、強力なコーポレートガバナンスを実践していることに誇りをもっています。私たちの企業ガバナンスプログラムは、業界のベストプラクティス、地域や国の要件、さまざまなステークホルダーのニーズに基づいています。私たちは、メーカー、パートナー、お客さま、従業員、地域社会に対する責任を果たし、それを超えることを約束します。これには、透明性を担保し、進捗状況を報告することも含まれます。

私たちの誠実さという価値観を支え、倫理的なリーダーシップと意思決定の文化を促進するために、私たちは包括的な倫理・コンプライアンスプログラムを設計・実施しました。このプログラムには、倫理的な事業行動、贈収賄防止、腐敗防止、その他のコンプライアンス関連の問題に

焦点を当てたいいくつかのコースなど、さまざまな側面があります。また、取締役会や上級管理職の役割を示す[ガバナンスガイドライン](#)、従業員に求められる行動を示す「共有原則」を制定しています。

当社の企業市民活動は、リーダーからなる部門横断的な運営委員会によって監督され、BSR社との強力なパートナーシップによって支援されています。CEOを含む経営陣は、企業市民戦略を検討・承認し、定期的に取り締役に報告しています。



2022年ハイライト

- 新しいTD SYNEX グローバル行動規範を制定し、倫理的なビジネス行動に関する基本的な期待と原則を伝え、一つのチームとして導くための基盤としました。
- TD SYNEX の目的、ミッション、ビジョン、バリューを発表し、サーバント・リーダーシップモデルのもと、ひとつの文化を育みました。
- グローバルの業務遂行チームやサステナビリティに取り組むグループを含め、企業市民活動のリーダーシップとガバナンス体制を確立しました。
- グローバルの業務推進担当者およびグローバルのサステナビリティ管理者を設置・充足しました。

誠実な対応

TD SYNEX は、取締役会をはじめとして誠実な対応を心がけており、取締役会は当社の企業市民活動に関する最新情報を定期的に受け取っています。ESG問題への強力な監視に対する取り組みの一環として、当社が指名した企業ガバナンス委員会は、当社のESG方針、プログラムの開発、監視および実施の検討において、取締役会を支援しています。当社の監査委員会は、当社の財務諸表の完全性、開示統制システムの信頼性と完全性、財務報告プロセスに対する内部統制、当社の法律および規制要件の遵守、独立監査人の資格と独立性、当社の内部監査機能および独立監査人のパフォーマンスに対する監視で取締役会を支援しています。会社のITセキュリティおよびデータプライバシー管理は、企業ガバナンス原則を通じて、取締役会に委ねられています。健全なガバナンスという理念に基づいて、取締役会はそれ自体と同僚、役員、取締役に高い基準を設けています。取締役会の義務は、ガバナンスポリシーと原則に記載されているとおり、株主のために慎重な受託者としての役割を果たすことです。

TD SYNEX のCEOを含む主要な経営幹部が、現在の報告傾向、調査や倫理的問題の解決や状況を把握できるよう、地域およびグローバルのコンプライアンス委員会を設置しています。これらの社内管理組織には、各四半期末に指標と定性的な詳細を提供しています。



「環境、社会、ガバナンスの問題を解決するために、企業は大きな貢献をすることが期待されています。そして私たちは、グループとして、このチャレンジに取り組んでいます。」

2022年、当社の投資家向け説明会に向けて、当社のシニアリーダー5名とともに開催したESGパネルでのTD SYNEX のCEO、リッチ・ヒューム。[ESGパネルディスカッション](#)の全容をご覧いただき、ESG課題への取り組みにおけるTD SYNEX の役割について、当社リーダーの見解をご紹介します。

TD SYNEX の100%子会社で、お客様のデータセンター向けにハイパースケールラックサーバーシステムを製造する[ハイブソリューションズ](#)は、2021年9月にRBA（レスポンシブルビジネスアライアンス）にアフィリエイト会員として加入し、2022年1月にレギュラー会員として承認されました。RBAは、グローバルな電子機器サプライチェーンを通じて、労働者、環境、ビジネスのための持続可能な価値を推進する企業の連合体です。この加盟により、ハイブソリューションズは、200社以上の企業とともに、自社の業務においてRBA行動規範に準拠し、実施し、サプライヤーに同規範を展開することになります。

プライバシーとデータセキュリティの優先順位付け

私たちのパートナーシップは、信頼の上に築かれた関係によって強化されています。私たちは、パートナー企業がITシステムと資産を安全に保つために、私たちに期待していることを知っており、その責任を真剣に受け止めています。私たちは、サイバーセキュリティのベストプラクティスと国際基準を適用し、さらに最高レベルのテクノロジーとプロセスを用いて、当社とパートナーを守っています。当社は、機密性と完全性を実現し、適切な情報を容易に入手できるようにするため、厳格なIT基準を守っています。私たちは、情報を安全かつセキュアに使用できるようにITシステムを設計し、これらのベストプラクティスを当社のパートナーにも適用しています。私たちのポリシーでは、会社の業務を遂行する際には承認されたTD SYNnexシステムを使用し、会社のデバイスやネットワークを違法行為や非倫理的行為に使用しないことを要求しています。

私たちは、新たな脅威の一步先を行くために、組織的・技術的な対策を常に改善していますが、社員一人ひとりのセキュリティ意識も重要な要素となっています。私たちは、プライバシー、サイバーセキュリティ、ITの適正使用に関するすべてのポリシーとベストプラクティスに従うよう、定期的にチームを訓練しています。TD SYNnexはサイバーディフェンスセンターを運営しています。これは専門のセキュリティオペレーションチームで、全社から集まったセキュリティ専門家によるグローバルチームを通じて、組織のリスクを最小限に抑え、セキュリティ侵害の影響を軽減し、脅威をリアルタイムで保護、検出、対応できるようにすることを目的としています。継続的なセキュリティ監視、脆弱性リスク評価、脅威インテリジェンス、侵入検知を提供しています。サイバーディフェンスセンターは、高度なツールやマネージドサービスプロバイダーを使用しAIとディープラーニングにより、非典型的なユーザー行動やシステム行為を特定します。フィッシングメールやデータ流出の可能性、その他のサイバー脅威の疑いがある場合、サイバーディフェンスセンターが適切に対応できるよう、直ちに警告を発します。



倫理・コンプライアンスの確保

TD SYNTEX は、グローバルパートナーがテクノロジーによって素晴らしい成果を達成できるよう支援します。倫理的なリーダーシップ、行動、コンプライアンスを重視することで、私たちは目的を達成し、ステークホルダーの信頼を築き続けています。旧来の会社を統合して以来、私たちは、お客さまと従業員がシームレスに体験できるよう、方針と手続きの調和に取り組んできました。私たちは、Tech DataとSYNTEXの両方のベストプラクティスを維持したいと考えており、そのためには協力と時間が必要であることを承知しています。最近発表したTD SYNTEX 行動規範は、倫理的なビジネス行動に関する私たちの期待や原則の核心を確立して伝え、ひとつのまとまったチームとして私たちを導く基礎となるものです。

例えば、2023年には、サプライチェーンにおける人権問題を特定し、対処するための日常的なデューデリジェンスに関する予測事項を盛り込んだ専用の「TD SYNTEX 人権に関する方針」を発表する予定です。また、贈答品や接待、利益相反、政府公費、競合情報、第三者審査など、パートナー企業によくある質問に対して、迅速かつ正確なガイダンスと承認を自動化する技術も活用しています。現在までに、TD SYNTEX のパートナー企業は、これらのツールを使って2,500件以上のカスタムガイダンスを受け取っています。

私たちは、万が一、原則に反したり、コンプライアンスを達成できない場合は、迅速に問題を解決し、修正することを約束します。当社は報復を許さず、コミュニティのすべてのメンバーに、何かおかしいと感じたら、声を上げるよう求めています。当社は、従業員が倫理・コンプライアンス問題を理解し、懸念を報告できるように、幅広いコンプライアンス・ポリシーと報告手段を確立しています。これらのリソースは以下の通りです。

- **TD SYNTEX 行動規範** : 当社の行動規範に反する行為を24時間365日報告する手段を提供します。
- ビデオシリーズ「**倫理・コンプライアンス実録**」では、実際に起こったコンプライアンス上の問題を取り上げ、その結果を解説しています。
- **30秒でわかる倫理・コンプライアンスビデオシリーズ** : 倫理・コンプライアンスに関するトピックについて、重要なヒントや注意点を紹介しています。
- **倫理・コンプライアンスツールキット** : 特定の状況下で取るべき重要なポイントやステップを、短くシンプルなパッケージで提供します。
- **ポリシー回答システム** : テクノロジーツールを活用し、従業員がコンプライアンス関連の質問に対する回答をデジタルで効率的に得られるよう支援します。
- **サプライヤーに求める原則** : サプライチェーンにおける人権、反競争的行動、贈収賄防止、腐敗防止、およびその他の中核的なガバナンスに関するサプライヤーやその他のビジネスパートナーへの明確な期待事項を設定します。



当社の理念

当社の原則は、私たちのすべての同僚、請負業者、取締役会メンバー、パートナー企業に適用されます。この原則は、私たちが次のように誠実に行動するための指針となっています：

- 私たちは、関連するポリシーと法律に従います
- 私たちは、安全で、尊重された、包括的な職場を提供します
- 私たちは、基本的人権を尊重します
- 私たちは、株主と資源を尊重します
- 私たちは、競合情報の機密を保持します
- 私たちは、潜在的な利益相反を報告し、管理します
- 私たちは、あらゆる場面で公正かつ誠実に行動します
- 私たちは、贈収賄や汚職を許しません
- 私たちは、個人のプライバシーを尊重します
- 私たちは、サイバーセキュリティを優先します
- 私たちは、自由で公正な競争を受け入れます
- 私たちは、これらの原則に対して責任を負います



付録

本レポートについて

本レポートは、TD SYNnex のサステナビリティの進捗状況を詳述したもので、当社初のサステナビリティレポートとなります。この報告書に記載されているプログラムの多くは、TD SYNnex の設立に先立つ合併前の2つの会社（Tech DataとSYNnex）によって開始されたものです。あらゆるビジネス機能に対し、一貫した戦略的アプローチを確立するための活動の一環として、企業市民レポートは、資源管理の改善、技術革新、企業市民活動への取り組みを追跡するための自然な次のステップであると確信しています。資源管理の改善、技術革新、そしてグローバルに広がる責任あるガバナンスの確保に向けた取り組みを追跡する上で、企業市民レポートは当然踏むべき段階であると考えています。このレポートは、サステナビリティのパフォーマンスに関する年次開示の主要な情報源となり、当社のESGアプローチとパフォーマンスに関して透明性の高い説明を提供することを意図しています。その他の事項に関する報告は、SEC への提出書類、年次報告書、企業ウェブサイトにてご覧いただけます。本レポートのデータは、特に断りのない限り、2021年12月1日から2022年11月30日の期間である2022会計年度に収集されたものです。

セーフハーバー宣言

本書中のTD SYNnex 株式会社に関する記述のうち、歴史的事実でないものは、1933年米国証券法第27A条および米国1934年証券取引法第21E条の定義するところの「将来に関する記述」が含まれています。これらの「将来に関する記述」は、「かも知れない」など可能性を想起させる用語、並びにこれらの用語の否定形又はその他の類似表現によって識別することができます。これらの将来予想に関する記述には、当社の戦略や目標に関するものが含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、リスクや不確実性を内包するものであり、実際の業績はこれら見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。

本レポートに含まれる記述は、発表日現在においてTD SYNnex 株式会社を知り得た情報に基づいており、TD SYNnex 株式会社は、別段の定めがある場合を除き、本レポートに含まれる情報を更新する義務を負うものではありません。



サステナビリティデータサマリー

コーポレート・マトリクス	
2022	
インパクト	
収益合計（千米ドル）	\$62,343,810
サポートするテクノロジーパートナー	150,000
対象国	100

⁷エネルギー使用量は、エネルギー消費量の20%になるとの推定/外挿を行い、アーバンランド研究所が報告する建物タイプ別のエネルギー消費量の2年平均を基にした推定値を使用しました（グリーンポイント・パフォーマンス・レポートVol.10 & 11）。これらの推定値は、データの性質や測定方法に限界があるため、不確定要素を含んでいます。容認可能な別の測定技術を選択した場合、実質的に測定結果が異なる場合があります。また、測定技術の違いにより、精度が異なる場合があります。

⁸当社では、当社の温室効果ガス排出量は、世界資源研究所/持続可能な発展のための世界経済人会議の「温室効果ガス規約」に基づいて計算・推定されたものであると断言しています。GHGプロトコルのスコープ2ガイドライン、GHGプロトコル企業基準の改訂を含む企業会計報告基準、改訂版（以下、総称して「GHGプロトコル」）です。当社は、排出量を集計するために業務管理手法を経営支配基準として利用しています。排出係数は、GHGプロトコルが定める優先順位付けの階層に従って適用されています。これらの因子は、2022年英国環境・食料・農村地域省（DEFRA）、米国eGRID、Carbon FootPrintの2021年グリッド電力排出因子v1.1、2020年国際エネルギー機関（IEA）排出因子、エネルギー市場庁（EMA）、地球環境戦略研究所（IGES）グリッド排出因子リスト2022、発行体協会（AIB）から入手したものです。GHG排出量の測定には、基準の解釈、含まれる情報の妥当性の判断、および報告情報に影響を与える見積もりや仮定が必要です。GHG排出量は、そのデータの性質や測定方法に内在する限界に起因する測定の不確実性の影響を受けます。容認可能な別の測定技術を選択した場合、実質的に測定結果が異なる場合があります。また、測定手法の精度も異なる場合があります。KPMG LLP（KPMG）は、2022年11月30日に終了した事業年度のスコープ1及び2の温室効果ガス排出量がGHGプロトコルに基づいて計算されているという当社の主張について、レビューを実施しました。KPMGの報告書の写しは47ページに掲載されています。その他の情報はありません。2022企業市民レポートに含まれるその他の情報は、KPMGの限定保証業務の対象ではなく、従って、KPMGはこれらの情報に関して結論やいかなる保証も表明しません。

⁹直接排出（Scope1）については、約6%が推計の結果でした。間接排出（Scope2）については、所在地別排出量の約25%、市場別排出量の約26%が推計値でした。これらの場合、床面積や過去の使用状況などの指標を元にして推計しています。排出量の内訳は、小数点以下を四捨五入しています。

環境	
2022	
エネルギーと消費量	
エネルギー消費量(MWh) ⁷	198,562
再生可能エネルギー消費量(MWh)	1,659
温室効果ガス排出量 ^{8,9}	
スコープ1 GHG排出量（メートル トンCO ₂ e）	14,254
スコープ2 GHG排出量（メートル トンCO ₂ e）	
位置情報付き排出量	38,914
市場性排出量	43,932

サステナビリティデータサマリー

環境	
2022	
CDP評価	
スコア	C “意識している”
EcoVadis評価	
スコア	銅メダル

ソーシャル	
2022	
米国民族(%)	
アメリカンインディアン/アラスカ先住民	1
アジア人	8
黒人/アフリカ系アメリカ人	11
ハワイアン/パシフィック・アイランダー	0
ヒスパニック/ラテン系	16
2種以上の人種	2
未公開	1
当選 特になし	2
白人	59

サステナビリティデータサマリー

ソーシャル	
2022	
全従業員	
正社員数	約 23,500名
グローバルの従業員の性別 (%)	
男性	58
女性	42

ソーシャル	
2022	
従業員満足度	
リーターシップ育成奨学金授与	7
TD SYNEX に入社したとき、歓迎されたと感じたと報告する従業員 (%) ¹⁰	85
経営陣が人々を信頼して良い仕事をしていると報告する従業員 (%) ¹⁰	81
ビジネスリソースグループ	7

¹⁰米国内のみの数値

気候変動に関する財務情報開示委員会（TCFD）情報開示指標

重点分野の開示	2022年の対応
<p>ガバナンス</p> <p>気候変動に関連するリスクと機会に関する組織のガバナンスを開示します。</p>	<p>当社の企業市民プログラムは、リーダーからなる部門横断的な運営委員会によって監督され、BSRとの強力なパートナーシップによってサポートされています。CEOを含むエグゼクティブ・リーダーシップ・チームは、企業市民戦略を検討・承認し、取締役会に定期的に最新情報を提供しています。</p> <p>取締役は、気候関連問題の議論に参加しています。指名されたコーポレートガバナンス委員会がESGの主要な監督を行っています。気候変動問題は、この期間に開催されたいくつかの取締役会で議論され、その後、主要な行動計画や目標設定などの指針となっています。</p>

重点分野の開示	2022年の対応
<p>戦略</p> <p>気候変動に関連するリスクと可能性が、組織の事業、戦略、財務計画に与える実際の影響と潜在的な影響を開示します。</p>	<p>当社は、現時点では、公開資料の中で実質的なリスクを明確な形で定義していません。しかし、環境・社会・ガバナンス（ESG）事項への関心の高まりは、当社の事業に影響を及ぼし、当社に新たなコストを課し、当社を新たなリスクにさらす可能性があることを認識しています。</p> <p>企業は、投資家、顧客、パートナー、消費者、その他のステークホルダーから、環境管理、社会的責任、多様性と受容、人種的公平正、職場行動などのESG事項に関して、ますます注目を浴びるようになってきました。また、コーポレートガバナンスや関連事項について投資家に情報を提供する組織は、ESG事項への取り組みについて企業を評価するための格付けプロセスを開発しました。このような格付けは、一部の投資家が投資や議決権行使の判断材料として利用しています。ESG格付けが好ましくない場合、当社に対する投資家の評価が悪化し、当社の株価や資本調達に悪影響が及ぶ可能性があります。</p> <p>私たちは、健全な環境・社会・ガバナンスの原則に沿った企業の社会的責任計画を策定しています。これらの計画は、当社の現在の率優先した取り組みを反映してはいるものの、当社がこれらのプログラムを達成できることを保証するものではありません。これらの取り組みを成功させ、進捗状況を正確に報告することは、経営、財務、法務、評判など多くのリスクをもたらしますが、その多くは当社がコントロールできないものであり、それらのリスクのすべてが当社の事業に重大な悪影響を及ぼす可能性があります。</p> <p>当社の事業に実質的な財務的・戦略的影響を及ぼす可能性のある気候関連リスクについて、TD SYNEX はリスクは存在するものの、事業に実質的な財務的・戦略的影響を及ぼす可能性があるものはないと認識しています。2022年に気候変動研究所の推計を用いて実施した気候リスク予備評価では、当社の事業に実質的なマイナスの影響を与える可能性のあるリスクは示されていません。しかし、当社は継続的にリスク評価を行っており、将来的に新たなリスクを特定する可能性があります。</p> <p>SBTiへの正式な公約を経て、今後2年間で移行計画を策定する予定です。</p>

重点分野の開示	2022年の対応
<p>リスクマネジメント</p> <p>組織が気候変動リスクをどのように識別し、評価し、管理しているかを開示します。</p>	<p>我々は、Climate Impact Lab (https://impactlab.org)の推定値を用いて、2022年の気候リスク予備評価を実施しました。このラボは、人々の健康、労働生産性、エネルギー需要、農業、製造業、海岸区域へのダメージ、社会紛争や犯罪の増加、人の移動による気候変化という8つのカテゴリーについて、気候変動と人間の福利との関係を推定するものです。ラボでは、地域ごとの気候リスク情報を提供するだけでなく、これらの影響を収益化・集計し、世界で初めて炭素の社会的コスト（SCC）-1トンの二酸化炭素排出が社会や経済にもたらすコスト-を実証的に推定しています。</p> <p>さらに、業界標準のガイドラインに従った事業継続計画を策定しています。この計画には、TD SYNEX が自然災害や人災に対応し、重要な事業機能の中断を最小限に抑えるためのエンド・ツー・エンドの手順が含まれています。災害とは、大規模な事業の中断を意味し、以下のカテゴリーに分類されます。自然災害（ハリケーン、洪水、地震など）、汚染（パンデミック、有害物質漏出など）、インフラまたは技術災害（データセンター、通信障害など）、生命・安全保障関連事象（内乱、テロ、戦争など）です。</p> <p>計画プロセスの一環として、Corporate Real Estate and Securityと連携し、各拠点における潜在的なリスクを評価します。リスクには、気候／洪水地帯、セキュリティ上の脅威、健康／安全上のリスクなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。</p> <p>今後数ヶ月の間に、サステナビリティ、財務、不動産、調達、事業継続計画などの社内機能チームと気候変動プロジェクトチームを結成する予定です。</p>

重点分野の開示	2022年の対応
<p>指標とターゲット</p> <p>関連する気候変動リスクと機会の評価と管理に使用する指標と目標を開示します。</p>	<p>私たちは、以下のような排出データをトラッキングしています:</p> <ul style="list-style-type: none">• グローバルでのスコープ1総排出量 (メートル トンCO₂e): 14,254• スコープ2、ロケーションベース (メートル トンCO₂e): 38,914• スコープ2、マーケットベース (メートル トンCO₂e): 43,932 <p>2045年までにグローバルでGHG排出量を正味ゼロにするという私たちの目標に沿って、今後5年間で排出強度を減らしていきます。来年、SBTiに正式に提出する際には、排出量目標を策定する予定です。</p>

サステナビリティ会計基準委員会（SASB）基準指数

多店舗展開する小売店・専門店・ディストリビューター

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード	2022年の対応
小売・流通業におけるエネルギーマネジメント	(1)総消費電力量 (2)系統電力比率 (3)再生可能エネルギー比率	定量	ギガジュール (GJ)、比率(%)	CG-MR-130a.1	1.2022年の総消費電力量：約198,562MWh 2.系統エネルギー比率 約99% 3.再生可能エネルギー比率 再生可能エネルギー比率 約1%

多店舗展開する小売店・専門店・ディストリビューター					
トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード	2022年の対応
データセキュリティ	データセキュリティのリスクを特定し、対処するためのアプローチの説明。	ディスカッションと分析	n/a	CG-MR-230a.1	<p>プライバシーとセキュリティ文化の維持、およびサイバー犯罪の防止は、取締役会がサイバーセキュリティに関するセキュリティブリーフィングで取り上げる中核的な事項です。当社のサイバーセキュリティリスク管理戦略の優先順位は、ステークホルダーの信頼を維持するために非常に重要です。</p> <p>当社のサイバーセキュリティプログラムは、サイバーセキュリティ脅威を検出し、対処・対応をするための規約を含め専門チームが主導しています。事業継続、災害復旧計画とテスト、セキュリティ脆弱性評価も頻繁に実施されています。当社のセキュリティ戦略は、複数の独立したセキュリティ企業によって評価されています。情報セキュリティ教育プログラムの一環として、サイバーセキュリティに関する意識向上トレーニングを実施し、倫理的なスパフィッシングのシミュレーションを重視しています。</p> <p>当社のサイバーセキュリティ保険の閾値と免責金額は、業界の期待値に沿ったものとなっています。</p> <p>2022年版企業市民活動報告書 > ガバナンス > プライバシーとデータセキュリティの最優先事項</p>

マルチライン・専門店・ディストリビューター					
トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード	2022年の対応
労働力の多様性と包括性	性別および米国内の人種・民族による代表者の割合 (1)管理職、(2)その他の従業員	定量	比率	CG-MR-330a.1	2022年版企業市民活動報告書 > 添付資料 > サステナビリティ・データ・サマリー
製品調達および梱包材料と製品マーケティング	梱包材料の環境負荷低減のための戦略検討	議論と分析	n/a	CG-MR-410a.3	2022年版企業市民活動報告書 > 環境への取り組み > オペレーションの最適化
活動指標	数：(1)小売店舗数および(2)物流センター	定量	数値	CG-MR-000.A	本合併の結果、当社は国内および海外の事業を拡大しました。当社は全世界で 181 箇所の物流・管理施設を運営しています。 ¹¹

¹¹このレポートに含まれる場所は、当社のサイトに掲載の企業不動産リストと一致しています。当社の大規模な施設では、複数のユーティリティメーターやアカウントを持つことがよくあります。このため、排出量を計算する際には、1つの拠点に複数の拠点があるものとしてカウントされる場合があります。

国連による持続可能な開発目標

目標	最も関連性の高い目標	2022年に与えた影響例
<p>目標4. 包括的で、公平な、質の高い教育の実現を確保し、すべての人に生涯学習の機会を提供します。(質の高い教育)</p>	<p>4.4 2030年までに、雇用、働きがいのある仕事、企業家精神の推進のために技術的・専門的な技術を含めて相応の技術を持つ若者と成人の数を大幅に増やします。</p>	<p>地域社会に印象を与えることは、常にTD SYNEXの誇りの源です。TD SYNEXは、その伝統ある社歴を通じて、地域社会への支援に取り組んでいます。TD SYNEXは、デジタル格差の解消、健康と福祉への支援、子供と教育への投資を柱に、コミュニティ支援へのコミットメントを続けています。</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > Social Responsibility > Committing to Our Communities</p>
<p>目標5. ジェンダー平等を実現し、すべての女性と女兒に力を与えます。(ジェンダー平等)</p>	<p>5.5 政治、経済、公的生活のあらゆるレベルの意思決定において、女性の完全かつ効果的な参加と機会均等またはリーダーシップを確保します。</p>	<p>私たちは、DEIロードマップを通じて、多様な人材、包括的な文化、すべての人にとって公平なプログラムと実践を育むことを目指します。私たちは、DEIに焦点を当てた教育、認識、関与の機会を提供することに専心しています。この取り組みを実現するために、TD SYNEXは、さまざまな業界や背景を持つメンバーで構成される多様な取締役会を設置することを約束しています。現在、取締役会の55%が女性または少数派のメンバーであると表明しています。</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > Social Responsibility > Affirming that Our Differences Make the Difference</p>

国連持続可能な開発目標、続き

目標	最も関連性の高い目標	2022年に与えた影響例
<p>目標8. 持続的、包括的かつ持続可能な経済成長、完全かつ生産的な雇用、及び万人のための働きがいのある仕事を促進します。（働きがいのある仕事と経済成長）</p>	<p>8.8 移民労働者、特に女性移民、不安定雇用の労働者を含むすべての労働者の労働権を保護し、安全で安心な労働環境を促進します。</p>	<p>TD SYNEXは、伝統ある歴史と、インクルージョン（包摂性）、コラボレーション（共創）、インテグリティ（誠実さ）、エクセレンス（卓越していること）という当社の価値観に沿って、強力なコーポレートガバナンスを実践していることを誇りとしています。私たちのコーポレートガバナンス計画は、業界のベストプラクティス、地域や国の要件、さまざまなステークホルダーの要望に基づいています。私たちは、メーカー、パートナー、お客さま、従業員、地域社会に対する責任を果たし、それを越えることを約束します。</p> <p>私たちは、安全は共同責任であり、確固たる業務遂行と従業員一人ひとりの警戒心の組み合わせによって、将来の安全を確保できると信じています。私たちの目的は、すべての従業員に安全な職場と環境を提供することであり、事故や怪我をゼロにすることが私たちの目標です。私たちは、適用される労働安全衛生局（OSHA）基準のガイダンスに従い、作業方法を継続的に見直し、あらゆる事故を分析し、改善策を講じることで達成に努めています。入社時、業務内容に応じて、また特定の機器を使用する前に、あるいは毎年、状況に応じてさまざまな安全教育コースを提供しています。</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > Governance</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > Social Responsibility > Ensuring a Safe Workplace for All</p> <p>TD SYNEX Website > Governance Policies and Principles</p>

国連持続可能な開発目標、続き

目標	最も関連性の高い目標	2022年に与えた影響例
<p>目標9. レジリエント（強靱）なインフラの構築、包括的で持続可能な工業化を推進し、イノベーションを促進します。（産業、改革、インフラ）</p>	<p>9.b 途上国における国内の技術開発、研究および技術革新を支援し、特に産業の多様化および一次製品の付加価値向上のための促進的な政策環境を確保することを含みます。</p>	<p>私たちは、ITエコシステムの主要なディストリビューターであり、ソリューションアグリゲーターです。私たちのビジョンは、世界のITエコシステムをつなぎ、すべての人のためにその可能性を解き放つことです。私たちは、お客さまがIT投資の価値を最大化し、ビジネス成果を実証し、成長の機会を引き出すお手伝いをする革新的なパートナーです。私たちの世界的展開により、重要なソリューションの提供を可能にし、私たち固有のソリューションとプログラムを分析する、さまざまな事業分野の指導者層から、恩恵を受けています。私たちは、技術のエコシステム全体と連携し、絶え間ない変革に取り組み、自信を持って実行し、チャンスがあればそれを逃さないように進化していきます。私たちは、グローバルなテクノロジーの流通力とソリューションアグリゲーション能力を通じて、あらゆるタイプのエコシステムパートナーにソリューションを提供します。</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > We're TD</p> <p>SYNNEX TD SYNNEX Website > About Us</p>

国連持続可能な開発目標、続き

目標	最も関連性の高い目標	2022年に与えた影響例
<p>目標12. 持続可能な消費と生産形態を確保します。 (責任を担う消費と生産)</p>	<p>12.2 2030年までに、天然資源の持続可能な管理と効率的な利用を実現します。</p>	<p>私たちは、新しい企業市民活動プログラムを通じて、協調的かつ協力的なアプローチをとることにより、グローバルな二酸化炭素排出量の削減、循環型経済の拡大、教育や思想的リーダーシップの実現に取り組んでいます。私たちは、SBTi (Science-based Target Initiative) ビジネスアンビション宣言に取り組み、2045年までに全世界の事業所で温室効果ガスを正味ゼロにする目標を設定し、多くの拠点ではさらに積極的なスケジュールと地域ごとの適切なガイドラインに沿うよう取り組んでいます。</p> <p>その過程で、排出量削減の目標を設定し、世界各地でサステナビリティの取り組みを強化する計画です。また、ステークホルダーとのパートナーシップにより、技術の価値を最大化し、廃棄物を最小限に抑えることで、循環型経済の推進に取り組んでいます。環境への影響と改善の機会をよりよく理解するために、私たちは内部評価とベンチマーキングを行ってきました。また、環境マネジメントシステムを導入し、国際的な標準に合わせ、CDPを通じてパフォーマンスを報告しています。私たちは、サステナビリティは旅であると認識しており、私たちのビジネスとITエコシステム全体に有意義な変化をもたらすことができると確信しています。</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > Environmental Sustainability</p>
	<p>12.5 2030年までに、予防、削減、リサイクル、再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減します。</p>	<p>私たちの目標は、循環型経済の原則を製品のライフサイクル管理戦略に組み込み、ステークホルダーと連携して、修理、改修、リサイクルを通じて廃棄物を最小限に抑えることです。</p> <p>香港では廃棄物削減プログラムなどの取り組みによりWastewi\$e認証などを取得し、フランスではISO9001と14001の認証を取得し、持続可能な管理システムとしてEcoVadisのプラチナメダルを獲得しました。</p> <p>イギリス・ブラックネルのオフィスを改装した際、私たちは廃棄物を最小限に抑えたいと考えました。そこで、「Waste to Wonder」という慈善団体と協力し、西アフリカのガーナで恵まれない子どもたちのために活動している「Not Alone Foundation Trust」にオフィス家具を寄贈しました。今後、他の英国拠点の移転や改装の際にも、同様のプロセスを採用する予定です。</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > Environmental Sustainability > Optimizing Our Operations</p>

国連持続可能な開発目標、続き

目標	最も関連性の高い目標	2022年に与えた影響例
<p>目標13. 気候変動とその影響に対処するために緊急の行動をとります。(気候変動対策)</p>	<p>13.2 国の政策、戦略、計画への気候変動対策に組み込みます。</p>	<p>気候変動対策は先延ばしにできません。私たちは、環境優先で取り組んでいます。私たちは、2021年9月にSBTiのビジネスアンビション宣言に署名し、二酸化炭素削減の旅を始めました。地球温暖化を産業革命以前の水準に抑えることを目指すパリ協定に沿って、私たちは2045年までにグローバルな事業活動において温室効果ガス排出を正味ゼロにすることを約束しました。この目標を達成するため、私たちは事業活動における二酸化炭素排出量の最小化に注力するとともに、パートナーと協力してITエコシステムの脱炭素化を支援しています。また、GHG排出量データの収集と開示を強化するため、データ管理システムの導入も進めています。これらの取り組みが、私たちの進むべき道筋を示す炭素削減ロードマップを構成することになるのです。</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > Our Corporate Citizenship Strategy</p> <p>2022 Corporate Citizenship Report > Environmental Sustainability > Reducing Our Carbon Footprint</p>

独立会計士によるレポート



TD SYNnex 取締役会へ

KPMG LLP Mission
Towers ISuite 6003975
Freedom Circle Santa
Clara, CA 95054

我々は、添付の2022年企業市民活動報告書の32ページに記載されている、2022年11月30日に終了した事業年度（以下「対象事項」）の当社のスコープ1および2の温室効果ガス排出量は、世界資源研究所／持続可能な開発のための世界経済人会議の温室効果ガスプロトコルに基づいて計算されているとのTD SYNnex Corporation（当社）の宣言について、経営陣によるレビューを行った。A Corporate Accounting and Reporting Standard, Revised Edition, including the GHG Protocol Scope 2 Guidance, An amendment to the GHG Protocol Corporate Standard」（以下、「GHGプロトコル」及び「基準」と総称する）に基づき算出されている。その宣言の責任は、会社の経営者にある。当監査法人の責任は、当監査法人の検討に基づいて経営者の主張に対して結論を表明することにある。

我々のレビューは、米国公認会計士協会の定める認証基準に従って実施された。これらの基準は、対象物が基準に従っている（又は基準に基づいている）ために、対象物に何らかの重要な変更がなされるべきかどうかについて限定的な保証を得るために、当監査法人がレビューを計画し実施することを求めている。審査において実施される手続は、意見を表明するために、対象物がすべての重要な点において評価基準に適合しているかどうかについて合理的な保証を得ることを目的とする審査とは性質及び時期が異なり、その程度も大幅に劣るものである。したがって、当監査法人は、そのような意見を表明していない。審査の限定された性質のため、審査で得られる保証の水準は、審査が行われた場合に得られる保証よりもかなり低い。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。我々は、入手した審査証拠が十分かつ適切であると判断している。

我々は、独立した立場から、業務に関連する倫理的要求事項に従って、その他の倫理的責任を果たすことが要求される。

当監査法人が実施した手続は、当監査法人の専門的判断に基づくものであり、主として、適用された方法に対して理解を得るための経営者への質問、温室効果ガス排出量を算定するための規定の方法の適用に関する評価、及び温室効果ガス排出量の一部についての再計算から構成されるものである。

添付の2022年企業市民レポートの32ページに記載されているように、対象事項の作成には、当社の経営陣による基準の解釈、含まれる情報の妥当性の判断、報告情報に影響を与える見積もりや仮定が必要である。容認可能な別の測定技法を選択することにより、実質的に異なる測定結果に達する可能性がある。別々の異なる企業が、許容範囲の別の解釈や決定を行う可能性がある。

我々の評価は、添付の2022年企業市民レポートの32ページに記載されている当社のスコープ1および2の温室効果ガス排出量（以下「対象事項」）が基準に基づいて計算されているという経営者の主張に限定されたものであった。当社の2022年企業市民レポートには、審査手続の対象とならなかったその他の情報及び指標が含まれている。また、当社の2022年企業市民レポートには、当社の評価対象外である目標や目的が含まれている。従って、当監査法人は、これらの情報や指標について意見、結論、その他のいかなる保証も表明しない。

当監査法人の意見では、TD SYNnex 株式会社の2022年11月期のスコープ1及び2の温室効果ガス排出量がGHGプロトコルに基づいて算定されているとの経営者の主張を公正に表示するために、重要な修正を行ってはいらないとの認識を表明している。

Santa Clara, California

February 9, 2023

KPMG LLP, a Delaware limited liability partnership and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee.



グローバル本社
ノーベルドライブ44201
フリーモント（カリフォルニア州）94538

16202 ベイビスタドライブ
クリアウォーター, FL 33760

www.tdsynnex.com
corporatecitizenship@tdsynnex.com

